

スコアボード

1月9日～	第46回横浜市少年サッカー大会(市長杯)
1月23,24日	第5回横浜招待少女サッカー大会
2月7日	2020年度横浜市市民大会 決勝
3月20,21日	横浜少女サッカー大会
3月23日	会員総会



発行編集 一般社団法人横浜サッカー協会
同 広報委員会
〒222-0033
横浜市港北区新横浜2-6-3
DSM新横浜7F
TEL(045)474-4315 FAX474-4316
http://www.yokohama-fa.or.jp
印刷 神奈川新聞社
〒231-8445 横浜市中区
太田町2-23
TEL227-0739 FAX227-0785

内田 渉会長ら再選

2020年度定時会員総会

（一社）横浜サッカー協会の2020年度定時会員総会は、6月25日に開催され、①2019年度事業報告②2019年度決算、監査報告について③2020、2021年度役員改選について審議された。

事業報告では、主催主管事業の第30回横浜少女サッカー大会が降雨とその後新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。また、市民リーグ、シニア親善サッカー大会も新型コロナウイルス感染拡大防止のため途中打ち切りとなったことが報告され、原案通り承認された。

③2020、2021年度役員改選については、立候補した14名の理事候補者全員が承認され、この中から会長、副会長、専務理事が決まった。また、2名の監事も承認された。'21年度役員は次の通り。

会 長	内田 渉
副会長	加藤 範義
専務理事	鈴木 栄一
理 事	石井 和則
	岩澤 明彦
	植木 裕司

新春のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。新しい年を迎えるにあたり皆様方にはさまざまな抱負を胸に秘め、新年の門出のお祝いをされたことと拝察いたします。会員の皆様には、日頃より協会の諸行事に多大なご協力を頂き、心より感謝申し上げます。

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大が世界各地で広がり多くの感染者を出しています。この新型コロナウイルス感染拡大が原因で国際経済に大きな打撃を与えています。また、スポーツ界全体にも計り知れない影響を及ぼしています。



（一社）横浜サッカー協会会長 内田 渉

昨年、開催予定の「東京オリンピック」もコロナの影響で今年に先送りとなれました。横浜市では横浜国際競技場でサッカー、横浜スタジアムでは野球とソフトボールが行われる予定です。コロナ感染拡大は予断を許さない現状で、大会に参加される多くの選手の方々は長い自粛生活の中、個々の体力、技術向上に精進されていることでしょう。大会では素晴らしいパフォーマンスを繰り広げていただきたいと思います。

より良いサッカー環境を

（一社）横浜サッカー協会会長 内田 渉

さて、このよくなコロナ禍、本協会主催の大会も感染拡大防止を懸念し、種別により多少異なりませんが大会の中止もしくは延期とさせて頂きました。大会

再開に際し、マスク着用、検温、消毒、手洗い等、徹底した対策を行っています。幸い体の不調を訴える参加者を出していません。今後も厳しい環境下、適切な予防対策を行い運営に努めてまいります。皆様のご理解ご協力をお願いします。

次に、以前にも掲載させて頂きました協会の展望、方針、見通し（ビジョン）についてお話しさせて頂きます。

主な方針、展望については、次の二点です。

- ・すべての年代が楽しくサッカーができる環境の提供。
- ・国際性を活かし、国際交流を通してすべての国との連携を図る。

昨年2020、2021年度、協会役員改選が行われ、新役員、新種別委員長が決定しました。これを機に再度ビジョンを達成するために、どのような活動をしていかなければならないか。現状を把握し、互いの情報を共有活用し、その目的の達成に努めてまいります。

U12からスタート

第52回国際チビ子サッカー大会

2020年度少年サッカー行事は春季大会でスタートするはずだったが、コロナ禍の影響で中止となり、夏休みを経てようやく国際チビ子大会U12の部が9月20日から始まった。学校開放等の制限があることからその後U10、少女、U8と時期をずらし実施することになった。

これまでは春季大会の成績

忍足 充	田島 隆道
小林 仁	野口 隆
小山 次郎	廣幡 素道
白倉 常夫	監 事 東 志信
鈴木 康司	守 友三

を基に1部、2部とブロック分けを行ってきたが、今年度は市内全域のブロック割から近隣の2区あるいは3区で実施し、コロナ基本ガイドラインを基にできるだけ移動のリスクも軽減する措置を取った。また、各クラスの上位チームで行ってきた決勝トーナメントも行わず、U12はJFA U12サッカーリーグとJFA

横浜勢が連覇!

優勝・パディ、準優勝・マリノス
第44回全国U12サッカー神奈川大会



全日本U12サッカー大会神奈川県中央大会出場を決める予選会を兼ねており、各ブロックの1位と昨年度優勝チームのパディISC、合わせて22チームが県大会に進んだ。U10は10月から12月末をめ

どに行うことになった。少女は11月3日よりA・Bの2ブロックに分けて行い、11月23日に終了した。U8は1月10日から2月末までの予定となっている。

ハーftime

決まり、12月5日にしんよこフットボールパークにて準決勝と3位決定戦が行われた。準決勝、3位決定戦、全てが同点でPK戦となり明暗を分けた。最後に残ったのは金沢区選抜と磯子区選抜。

12月6日ニッパツ三ツ沢球技場でJYSSCC対ACC長野戦の前座試合として決勝が行われた。後半、見事なフリーキックから金沢区選抜が先取点を挙げたが、磯子区選抜もすぐさま追いつき、その後は一進一退の白熱した戦いで1対1と決着がつかず両チーム優勝となり、共に栄冠を分かち合った。

昨年は、新型コロナウイルス、この目に見えない恐怖と厳しい社会環境に振り回された一年であった。

新型コロナウイルス感染拡大が世界各地に猛威を振るい、スポーツ界にも大きな影響を及ぼした。スポーツの祭典、東京オリンピックの延期、各種競技大会が中止となり、アスリートはむろん観戦者の楽しみも奪ってしまった。横浜サッカー協会でも、多くの大会が中止となり、参加を予定していた選手諸君には熟したる思いを寄せたのではないだろうか。

活動が始まったのが9月以降、大会再開に際しては、マスク着用、検温、消毒、手洗い等、徹底した対策を行い実施してきている。それでも、どこか気持ちの上では感染への不安を抱くのも否めないのが実情である。新型コロナウイルス感染拡大への収束が見られない今、気を緩めることなく万全の対策を施し、サッカーに臨んでほしい。そして、こうした厳しい環境下においてもサッカーができる喜びを感じてもらいたい。(梅)

磯子・金沢両選抜が共に栄冠

第23回区選抜大会 (YSSCC杯)

毎年春マリノス杯として行われていた横浜市の18区選抜チームの大会は、今年度、コロナ禍の影響により延期され、またマリノスの協賛自粛と重なり、開催が危ぶまれていたが、YSSCCの特別協賛を得て、第23回横浜市区選抜大会がYSSCC杯として開催された。

11月28日、29日長坂谷公園G、さえずりの丘公園Gで、2回戦が行われ、ベスト4が

今年度はコロナ禍の影響もあり、例年とは違い各郡市リーグ戦で好成績を収めた64チームによるトーナメント戦の大会方式で行われた。11月8日より、しんよこフットボールパークなど各会場で行われ、1、2回戦が行われ、11月22日にベスト4が決まり、前回の優勝の横浜マリノススプライマリ、前回準優勝パディISC、前回ベスト8のSCH・FC、もう1チームは初ベスト4のCFGYOKOHA MAと横浜勢が4チーム独占した。

折しも、今年度は日朝親善サッカー大会が開催されて60回の節目の大会を迎えます。近年、激しく揺れ動く朝鮮半島情勢に振り回される事なく信念をもち親善友好の輪を守ってまいります。今後、ますます日朝両国の親善を深め、内容のある大会にしたいと考えています。

最後になりますが、今後ともサッカーを通して協会の諸行事、運営等に皆様方の一層のお力添えをお願い申し上げます。

結びに今年一年皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、新年のご挨拶とさせて頂きます。

再開に際し、マスク着用、検温、消毒、手洗い等、徹底した対策を行っています。幸い体の不調を訴える参加者を出していません。今後も厳しい環境下、適切な予防対策を行い運営に努めてまいります。皆様のご理解ご協力をお願いします。

次に、以前にも掲載させて頂きました協会の展望、方針、見通し（ビジョン）についてお話しさせて頂きます。

主な方針、展望については、次の二点です。

- ・すべての年代が楽しくサッカーができる環境の提供。
- ・国際性を活かし、国際交流を通してすべての国との連携を図る。

昨年2020、2021年度、協会役員改選が行われ、新役員、新種別委員長が決定しました。これを機に再度ビジョンを達成するために、どのような活動をしていかなければならないか。現状を把握し、互いの情報を共有活用し、その目的の達成に努めてまいります。

FCKOREAが連覇

第59回日朝親善サッカー大会



第59回横浜市長杯争奪日朝親善サッカー横浜大会は、10月31日に三ツ沢陸上競技場、神奈川朝鮮中高級学校グラウンドで行われた。

同大会は、サッカーを通じて、日朝両国民の友好を深める目的で毎年開催されている大会で今年も、59回目となる。

大会は、交流試合として横浜GSFC対神奈川朝鮮中級学校、YSCCユース対神奈川朝鮮高級学校、YSCCジュニア対神奈川朝鮮初級学校

校県下合同チーム、そして、社会人のAC UMOJIA対神奈川朝鮮蹴球団が行われた。

横浜市長杯争奪戦は、優勝杯返還、花束贈呈のセレモニーのあと横浜社会人チーム代表の横浜猛蹴対FC KOREA戦が行われた。試合の大半を支配したFC KOREAが後半2点を取り、昨年度に続き連覇した。

試合結果は次の通り。
横浜GS 1-1 神奈川朝鮮中級学校
YSCC 2-1 神奈川朝鮮高級学校

女子サッカーが盛況!

SCCHが制覇

第1回U-15ガールズカップ

第1回U-15ガールズカップが12月12日、13日の2日間にわたり、しんよこフットボールパークと玄海田公園運動広場で行われた。

この大会は中学年代の女子サッカー支援を目的にクラブチームと中体連の交流も図る機会として、5チームによる総当たり戦で第一回目の大会として開催された。

天候にも恵まれ青空映えるピッチに、躍動する選手たち



の姿がとて清々しかった。参加された多くの選手や指導者から大変喜ばれ、実に有意義な大会と評価が高く、次の開催が期待される。

優勝・SCCHフットボールクラブ
準優勝・クラブテアトロ
第3位・日体大FIELDS 横浜U-15
第4位・SHガールズ
第5位・中体連選抜女子

課題の改善へ...

SCCH 山西 理緒

第1回U-15ガールズカップで優勝できたことを、とても嬉しく思います。また、普段では対戦する事のないような相手と戦えた事も、とても良い経験となりました。優勝できたことは自信にして、この大会で見つけた課題を改善できるように日々の練習に励んでいきたいと思っています。

コロナ禍の状況にも関わらず、この大会を開催してくださった関係者の皆様に選手を代表して感謝致します。本当にありがとうございます。

優勝 港北区選抜

第4回選抜女子大会 (シーガル杯)

16チームによるトーナメント方式による第4回横浜市選抜女子サッカー大会は、11月28日に長坂谷公園グラウンド、平戸水谷グラウンドの2会場で行われた。

多くの試合が接戦で1点差やPK戦にもつれ込む試合が繰り広げられ実力が均衡しどのチームもレベルアップされていた。

11月29日準決勝・決勝戦は横浜スタジアムにて行われた。準決勝第1試合は、青葉区選抜対港北区選抜、1、2回戦と得点力の勝る、港北区選抜が4-1と青葉区選抜を下し決勝戦へと駒を進める。

準決勝第2試合は磯子区選抜対港南区選抜、粘り強いサッカーを続けてきた磯子区選抜が、一進一退の白熱した試合の結果2-2の同点、PK戦を制し決勝戦に進出した。

決勝戦は港北区選抜対磯子区選抜、今大会安定した守備と得点力の港北区選抜が5-0で第四回大会の優勝を果たした。

あざみ野FCが優勝

タカナシカップ ジュニアサッカー大会

元NHK杯として行われていた大会が今年度からタカナシ乳業(株)の協賛を得て名称をタカナシカップとなり、11月1日、3日の2日間にわたり、しんよこフットボールパークで行われた。この大会は18区の5年生の代表チームによる8人制の大会で、12月開催の県大会、横浜市代表を決める予選会を兼ねている。

YSCC 2-0 初級学校
ジュニア 下合同チーム

AC 神奈川朝鮮 UMOJIA 蹴球団
(横浜市長杯争奪)
横浜猛蹴 0-2 FC KOREA

安定した力が!

港北区選抜 三田村 麗

今回の大会で優勝という最高の結果を残しました。その理由を自分なりに振り返ってみました。まず一つ目は、学年問わず仲が良く明るい最高のチームだった事。二つ目は、誰が試合に出てもバランスの崩れない安定した力を出せるチームだった事。三つ目は、監督・コーチの的確な指示、保護者の素敵な応援、とにかく最高のスタッフに恵まれていた事です。次は日産スタジアム杯。日々練習に全力で取り組み、大会2連覇を目指すぞ!!

心をひとつにして

金沢ガールズ 鈴木 佑梨

私がずらずらん杯で印象に残っている試合は、緑ビクシリーズ戦です。どの対戦相手も強敵でしたが、特に緑ビクシリーズには上手な選手が多く、試合でも先取点を取られてしまいました。しかし、私たちのチームの中に勝つことを諦めている選手は一人もいませんでした。

優勝 金沢ガールズ

第7回ずらずらん少女サッカー大会

第7回ずらずらん少女サッカー大会が11月3日に玄海田公園運動広場で行われた。この大会は少女サッカーの普及と育成を目指し、チーム相互の親睦を図ることを目的にU-10大会として4年生以下の少女チームが参加した。朝まで雨が降り続いていたが、試合が始まる頃には、選

手に残っているのは仲間が決めた決勝戦のゴールですが、全員が集中を切らさずに全ての試合に臨めたことが良かったと思います。

強い気持ちで...

あざみ野FC 小田 浩資

僕たちは、今年初めての公式戦の大会で優勝をすることが出来ました。厳しい試合が続いたので、優勝が決まった時、思わず全身の力が抜けてしまいました。決勝トーナメントで2度のPK戦を制して決勝戦に進み、勝つことが出来たのは、あざみ野メンバー全員の勝利への強い気持ちがあったからだと思います。印象に残っているのは、

優勝・あざみ野FC (青葉区)
準優勝・黒滝SC (緑区)
3位・パデューSC (南区)

気持ちを高めて

横浜ウインズ 阿部つばさ

今年も試合も練習も思うようにできず、大きな大会もなかなか落ちてしまいました。とても落ち込みましたが、まずはカトレア杯に出られると知って、気持ちを切り替えチーム一丸となって練習しました。みんな優勝したい、ボールをつなぎたい、という思いで頑張りました。私自身も、チームを盛り上げようと「前からいこう!」と声を出したり、休けない時間に声をかけ合って気持ちを高めていきました。みんなの頑張りの結果、優勝することができました。

優勝 横浜ウインズ

第28回カトレア少女サッカー大会

第28回カトレア少女サッカー大会が8月30日にプレ大会が、9月13日に本大会が玄海田公園運動広場で行われた。プレ大会は14チームが、本大会には15チームが参加した。プレ大会は交流戦として、本大会は4ブロックに分けて予選リーグを行い、午後から順位バトルに分かれて順位決定トーナメント戦を行った。

コロナ禍での初の公式戦実施となり、選手達はピッチ一杯元気にプレーし、多くの笑顔で溢れていました。

優勝・横浜ウインズ
準優勝・金沢ガールズ

リーグ優勝と表彰

社会人総会開く

社会人委員会登録総会は、7月4日に行われ、2019年度リーグ優勝チームの表彰も行った。

新型コロナウイルス感染の不安を抱えながら、市民リーグ、市民大会ともに始まった。2019年度リーグ優勝チームは次の通り。

- 1A...FCソシオス
- 1B...Fuzzy
- 1C...FCフェルメンタール
- 1D...横浜スポーツアンドカルチャークラブ
- 2A...FC BOLAZO
- 2B...六浦FCレジェンド
- 2C...AFC横浜
- 2D...ブリヂストン横浜
- 3A...JFC FUTURO
- 3B...FC椿
- 3C...ミスターX
- SA...六浦FCレジェンド
- SB...横浜ミラン

法人会員一覧

横浜マリノス(株)	横浜食品開発(株)
神奈川新聞社	JFE東日本ジーエス(株)
(株)横浜シミズ	(株)横浜アーティスト
	(有)フリースタイル